

1. 公開講座一覧

	申込期間	開催日時	研修テーマ	講師	定員
1	6月1日 ～ 各研修の 1週間前 まで	7月5日(金) 13:10～ 16:20	緩和ケアを受ける患者の心理社会的ニーズとケア	キャンサー・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長 桜井 なおみ 著書：あのひとががんになったら - 「通院治療」時代のつながり方	50
		自身も30代で設計事務所のチーフデザイナーのころに乳がんを体験され、治療のための休職からの復帰後、治療と仕事の両立が困難となり2年後に退職される。この体験を経て「がんになっても自分らしく生きられる社会」を目指し、がん体験者の就労・雇用を支援するキャンサー・ソリューションズを設立する。			
2	6月1日 ～ 各研修の 1週間前 まで	7月10日(水) 9:00～ 12:10	緩和ケアにおけるリハビリテーションの役割	慶応義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 准教授 辻 哲也 著書：「実践！がんのリハビリテーション」 「がんのリハビリテーションガイドライン」 「骨転移の診療とリハビリテーション」	60
		近年、がん患者の療養生活の質の維持向上が重視されているが、がんの直接的影響だけではなく、その様々な治療の過程で機能障害が生じ、ADLの制限やQOLの低下を来すことも度々みられる。これらの問題に対してリハビリの介入を行う必要性は今後さらに増えていくと予想され、がん患者にかかわるスタッフがリハビリの知識やテクニックを身に付けておくことはとても重要だとされる。辻先生は静岡がんセンターで初めてがんを専門とするリハビリ科の施設として開院された実績を持つ。その後も日本におけるがんリハビリテーションの様々なガイドラインやマニュアル作成に携わっている。			
3	7月1日 ～ 各研修の 1週間前 まで	8月2日(金) 9:00～ 14:40	死と死にゆくプロセス 喪失・悲嘆・死別のアセスメント	関西学院大学 教授(医師) 坂口 幸弘 著書：悲観学入門—死別の悲しみを学ぶ(昭和堂) 死別の悲しみに向き合う グリーフケアとは何か(講談社現代新書)	50
		死別後の悲嘆とグリーフケアを研究テーマとしており、主に心理学的な観点から研究・教育を行う一方で、ホスピスや葬儀社などと連携して実践の活動も行っている。他にも、死別における複雑性悲嘆および抑うつ、希死念慮の出現とその関連因子を明らかにすること、また、グリーフケアのサービスに対する遺族の利用ニーズと効果、そして実際の利用を妨げているバリアを明らかにすることをなど幅広く研究されており、ケアを必要とする遺族が利用しやすく、かつ有効なサービスのあり方を模索している。			
4	7月1日 ～ 各研修の 1週間前 まで	8月5日(月) 9:00～ 12:10	リンパ浮腫のメカニズムと基本的ケア	日本浮腫緩和療法協会代表 柔道整復師 大塚 俊介 著書：リンパ浮腫全書 診断・治療と患者指導	60
		子宮がんや乳がんの治療の後遺症「リンパ浮腫」は発症率が高いにも関わらず、治療が十分に普及していない現状である。大塚先生は「リンパ浮腫難民を救えるよう。リンパ浮腫治療の全国均てん化を目指し活動しています。」とコメントしているように、全国でリンパ浮腫治療の現状や予防法、医療制度の課題を指導、対策に取り組んでいる。自身も海外での研修参加を重ね、自己研鑽を実践しており、リンパ浮腫ケアの最先端を普及している。			
5	7月1日 ～ 各研修の 1週間前 まで	8月7日(水) 9:00～ 16:20	在宅で療養するがんと認知症患者と家族のニーズ	新国内科医院 がん看護専門看護師 宇野 さつき	50
		2006年にがん看護専門看護師を取得され、まだ国内でも数少ない地域のがん看護専門看護師として活動している。外来では、在宅を希望するがん患者の在宅依頼への対応・調整、症状緩和やリンパ浮腫などのケアや生活指導、治療やこれからの過ごし方などの意思決定の支援、家族のグリーフケアなどを行い、在宅では訪問看護ステーションや周辺の複数のステーションとも連携を取り、患者、家族が少しでも安心、安楽に過ごせるようチームの一員として看護実践を行っている。			

6		8月15日(木) 9:00~ 12:10	緩和ケアにおける医療コミュニケーション技術	国立がんセンター 心理療法士 藤森 麻衣子 著書:がん医療におけるコミュニケーション・スキル 悪い知らせをどう伝えるか(医学書院)	30
		2004年に臨床心理士取得され、その後「QOL向上のための患者支援プログラムの開発研究」班において、世界で初の患者の意向調査結果を踏まえて作られたがん医療におけるコミュニケーショントレーニングツールSHAREの開発に携わる。SHAREを用いた「がん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術研修会」を開催し、がん医療における医師のコミュニケーションスキル向上に力を注いでいる。			
7	7月1日 ~ 各研修の 1週間前 まで	8月26日(月) 9:00~ 16:20	がん患者の精神症状のメカニズムと治療(不安・せん妄・抑うつ・睡眠障害)	国立がん研究センター東病院 精神腫瘍課長 小川 朝生 著書:「精神腫瘍学クリニカルエッセンス」 「新版 がん緩和ケアガイドブック」 「がん患者の精神症状はこう診る 向精神薬はこう使う」	60
		2007年から国立がんセンターにて精神腫瘍科の勤務となる。臨床では最適ながん治療が行えるよう、あらゆる時期のがん患者さんご家族に心のケアを提供している。がん患者、家族の不安や抑うつなどの精神症状やせん妄に対する多くの著書やガイドライン編集に携わる。また、がん患者だけでなく、認知症の緩和ケアも研究テーマとして尽力を注いでいる。			
8		8月30日(金) 9:00~ 16:20	倦怠感・悪液質のメカニズムとその治療 苦痛緩和のセデーションとその実際	淀川キリスト教病院 医師 池永 昌之 著書:一般病棟だからこそ始める緩和ケア(メディカ出版) 緩和ケアマニュアル(最新医学社) 緩和ケア(青海社 2009年)	60
		1993年に淀川キリスト教病院ホスピス勤務となる。2015年同病院緩和医療内科 主任部長へと就任に至る。日本で2番目に開設されたホスピス病院と歴史がありながら、当初から在宅ホスピスに取り組み、地域のネットワークと連携して終末期患者の在宅ケアを行っている。 また緩和ケア普及啓発WPG(Working Practitioner Group)のメンバーとして国民への緩和ケア普及に取り組み、緩和ケアに関する多くのマニュアルなどを執筆されている。			
9	8月1日 ~ 各研修の 1週間前 まで	9月2日(月) 9:00~ 12:10	全人的苦悩に向き合う力 プレセンス・真の共感とは 「ことばの処方箋」	順天堂大学大学院 がん哲学外来 教授 樋野 興夫 著書:「大切な人ががんになったとき…生きる力を引き出す 寄り添い方」 がんばりすぎない、悲しみすぎない。「がん患者の家族」のための言葉の処方箋 他多数	100
		米国アインシュタイン医学大学肝臓研究センター、米国フォクスチエースがんセンター、癌研究所実験病理部長など輝かしい経歴を経て、2005年には我が国初の「アスベスト・中皮腫外来」を開設し、多くの中皮腫の早期発見に貢献してきた。その一方で「がん哲学外来」も開設。「がん哲学外来」というのは、がんと診断され、死を意識した患者と家族にこれからどう生き、死ぬまでに何をするかを対話で解消していく場である。現在は全国140か所で無料で対話を通して「ことばの処方箋」を提供している。			
10		9月11日(水) 9:00~ 12:10	スピリチュアルケア	NPO法人緩和ケアサポートグループ 理事長 河 正子 著書:看護に活かすスピリチュアルケアの手引き 第2版(青海社)	50
		新人看護師のころの終末期がん患者の看護の体験から、自身の取り組むべき課題とする。東京大学大学院でターミナルケア看護学の講師を経て、2008年にNPO法人緩和ケアサポートグループを設立する。一般市民への緩和ケア普及事業および医療・福祉従事者への緩和ケアの質向上や情報交換に関する支援事業を展開し、緩和ケアの充実をはかっている。多くのスピリチュアルケアに関する著書を執筆しており、我が国でのスピリチュアルケアの発展に貢献している。			

11	8月1日 ～ 各研修の 1週間前 まで	9月12日（木） 14：50～ 18：00	患者・家族の価値観を尊重するための コミュニケーション ・支持的療法とは ・精神症状をもつ患者との コミュニケーション	名古屋市立大学大学院医学系研究科 精神・認知・行動医学分野 教授 明智 龍男 著書：がんと心のケア	60
		国立がんセンターの精神腫瘍科を経て、名古屋市立大学大学院医学研究科教授、また同大学病院の緩和ケア部長に就任となる。診療においては、日々多くのがん患者さんの心のケアを中心に、医師の立場（3人称）から少し踏み込んだ、患者（2人称）やそのご家族に根ざした「2.5人称の医療」を行っている。臨床医としての顔を持つ一方で名古屋市立大学大学院医学研究科教授として、サイコオンコロジーを心得た臨床医の育成にも尽力している。専門分野は精神腫瘍学、コンサルテーション・リエゾン精神医学 がん患者・家族に対する心理社会的介入であり、臨床に有用なエビデンスを“創る”ことのできる研究者でありたいという理念から、これまでも多くの著書や論文を執筆してきた。			

2.申込方法

平成31年度教育計画「研修申込書」【様式1】に必要事項を記入し、FAX・Eメールにてお申し込みください。申込期間については、上記をご参照ください。

受講決定通知は致しませんが、受講できない場合のみ応募期間終了後10日以内にご連絡いたします。

申込先：公益社団法人 沖縄県看護協会 教育課

FAX 098-888-3126 Eメール kyouiku@oki-kango.or.jp (吉澤、高江洲、久手堅)

3. 受講料

会員 1研修につき 2,000円

非会員 1研修につき 5,000円

3.受講料（税込み）振込について

研修5日前までに、下記口座へお振込みください。

【振込先：琉球銀行南風原支店（普通預金） No.381122 沖縄県看護協会 代表理事】

※やむをえず当日お支払する場合は、お釣りの無いようにご協力お願いいたします。